



晴れやかに20歳の門出

# 議会だより せら



世羅町

No.16

平成21年2月13日発行

## ■今月の主な記事

- 正副議長インタビュー .....2
- 議会構成 .....3
- 議会審議 .....4～5
- 委員会調査 .....6～8
- 一般質問 .....9～15
- 元気な人紹介 .....16

主な記事



副議長

奥田正和

**A** 役割りとして小川議長を支えるのは勿論だが、議員各位が町の執行部と活発な議論が出来るよう努力する。

財政硬化化で住民サービスの低下とならないためにも、将来、『世羅町に住んで良かった』と言って頂ける、新しい発想のもとで提案型の議会でありたい。昨年は世界的に「変」の年だったが明るい話題で進みたい。

### 提案型の議会を

**Q** 行財政改革まったなかでの副議長就任。その抱負は。

### 町政への関心を高める

**A** 議員は課題の中身をもっと調査し熟知する事が必要と思う。そのためには現場に出向き町の繁栄を願い鋭意努力しなければならぬ。議会報告会も工夫し、CATVや広報を活用して町政に関心を高めて頂きたい。事理一致の如く研鑽してゆく。

**Q** 小学校再編、少子高齢化等々課題が山積するなか、議会の使命が問われるのでは。



議長

小川信晃

**A** 自治体全てが自己責任、自己決定の下で行なわれるべきだが、一向に改革のろしが上がらない。その改革を誰が手がけるかといえはその役目は議長である。よって立候補した。今、浅学非才の私にできるかなと全身身震いがしている。議員各位のご支援のもと、一歩でも前進し、分権時代にふさわしい議会にしたい。

### 時代の要請にそった議会をめざす

**Q** 行財政改革まったなかでの議長就任。その抱負のほどは。

### 政策提案できる議会

**A** 課題は山積するが、先ず緊急課題は金融危機によつて起こっている地域経済の冷え込みを何としても最小限に食い止める事である。財政に狂いが生じると自治体の持続に影響を及ぼす。議員も使命感をもつて一丸となつて、情報をキャッチ政策提案し、対応してゆく所存である。

**Q** 小学校再編、少子高齢化等々課題が山積するなか、議会の使命が問われるのでは。

## 山積する課題 議会の責をどう果す 正副議長にインタビュー

# 世羅町議会（構成表）

H20年11月11日現在

10月26日投開票の世羅町議会議員一般選挙で選出された16人の新議員での初議会が11月11日に開かれた。新しい議会の構成は表のとおり。

## ■正副議長

議 長	小 川 信 晃
副 議 長	奥 田 正 和

## ■監査委員

監査委員	仲 行 洋
------	-------

## ■常任委員会・議会運営委員会(任期は2年)

名 称	人数	委 員 長 ・ 副 委 員 長 ・ 委 員							
総 務 文 教 常 任 委 員 会	8	委員長	中村 幸雄	副委員長	福田 豪	委 員	西田美喜男 矢山 武 豊田 勲	岡田 武士 安佐 長秀 福田 義人	
産 業 建 設 常 任 委 員 会	8	委員長	永田 英則	副委員長	仙光 保喜	委 員	徳光 義昭 仲行 洋 奥田 正和	能登 哲夫 松本 秀治 小川 信晃	
議会運営委員会	6	委員長	豊田 勲	副委員長	徳光 義昭	委 員	安佐 長秀 永田 英則	仙光 保喜 中村 幸雄	

## ■特別委員会

名 称	人数	委 員 長 ・ 副 委 員 長 ・ 委 員							
尾 道 松 江 線 調 査 特 別 委 員 会	7	委員長	安佐 長秀	副委員長	能登 哲夫	委 員	西田美喜男 仙光 保喜 中村 幸雄	豊田 勲 永田 英則	
議 会 広 報 広 聴 調 査 特 別 委 員 会	6	委員長	福田 義人	副委員長	松本 秀治	委 員	西田美喜男 福田 豪	安佐 長秀 奥田 正和	
公共下水道事業 調 査 特 別 委 員 会	8	委員長	徳光 義昭	副委員長	岡田 武士	委 員	矢山 武 仲行 洋 松本 秀治	福田 義人 福田 豪 奥田 正和	

## ■一部事務組合議会

名 称	選出方法	人数	議 員 名					
三原広域市町村圏事務組合議会	選 挙	3	議員	徳光 義昭・福田 豪・小川 信晃				
世 羅 三 原 斎 場 組 合 議 会	あ て 職 選	5	議長	小川 信晃	議員	岡田 武士・矢山 武・安佐 長秀 仲行 洋		
世 羅 中 央 病 院 企 業 団 議 会	あ て 職 選	4	議長	小川 信晃	議員	福田 義人・仙光 保喜・松本 秀治		
広島中部台地土地改良施設 管 理 組 合 議 会	あ て 職 選	4	議長	小川 信晃	議員	能登 哲夫・永田 英則・中村 幸雄		
甲 世 衛 生 組 合 議 会	あ て 職 選	4	議長	小川 信晃	議員	西田美喜男・豊田 勲・奥田 正和		
後期高齢者医療広域連合議会	選 挙	1	議員	小川信晃				

# 産直市場

## 施設の指定管理を更新



甲山いきいき村

町内農産物の直販施設として、また情報の発信基地として、農業振興の拠点となっている「せら農業公園」など6つの産直施設の指定管理が3月で満了する。

議員からは「これら

### 直販施設 指定管理者は継続

12月定例会は12月9日に開会した。初日は、提出されていた陳情・請願の審査を所管委員会へ付託した。その後10日にかけて、提案された28議案の審議を行い、すべて原案どおり可決した。一般質問（9頁～11頁）は11・12日に行い、15日～17日は、各々の委員会調査をした。最終日の19日は任期が満了する選挙管理委員とその補充員の選任を行った。（8頁）また委員会で審査された陳情・請願とそれともなう意見書（8頁）の採択を行い、11日間の会期を終了した。

は、農業施策のひとつとして設置しており、その目的にそった管理・運営が求められる「運営費のほとんどは指定

管理者の負担となるため、経営の安定性が求められる」などの質疑があった。

これに対し「冬期間の入込客対策の必要な施設もあるが、おおむね経営は安定し、継続性もある」旨の答弁だった。

審議の結果、6施設とも現在の指定管理者に、5年間継続させることに決した。

### 条例改正

#### ◎世羅町税条例の一部改正と国民健康保険条例の一部改正

地方税法、健康保険法施行令が改正されたことに伴い、世羅町の関係する条例も整合性をもたせるため改正することが提案された。

議員から「上場株式の配当にかかる税制が不十分で、所得隔差を拡大するのでは」との質疑もあったが、法改正に伴うものであることから可決した。

#### 世羅町学校給食センター条例の改正案

行財政改革と、現状の児童、生徒の減少傾向の続くなか、隣接する甲山学校給食センターと世羅学校給食センターを統合し、効率的によりよい学校給食を提供するため学校給食センター設置条例の一部改正を求めたもの。賛成多数で可決した。

#### ◎国民健康保険税法条例と介護保険条例の一部改正

これまで前年度を基礎として暫定的に算定していた国保税、介護保険料を、確定所得での本算定に一本化するもので可決。

#### 長期継続契約

締結できる契約は、①事務機器など商習慣上複数年度にわたる物品、②ソフトウェアの使用許諾契約のうち継続的使用する必要があるもの。③警備やエレベーター保守、収集運搬業務などの毎年度当初から役務の提供を受ける必要があるもの。契約の期間は5年間以内とし、税金活用により有効な場合など町長が特別に認めた時はこの限りでない。全会一致で可決。

# 農業振興の拠点

## 補正予算

一般会計では主に農林水産事業費・土木費・教育費で減額補正となった。内容は集落法人育成の交付金が目標面積未達成により減った事、町道改良舗装工事などが道路特定財源のありで減額となった。教育費の中では公民館職員との給与を計上している。

## 三原広域

三原広域市町村圏の創造的、一体的な振興整備のために両市町で基金を10億円積み立てその利息で事業を行ってきた。

世羅駅伝補助、サッカーのサンフレッチェ応援ツアー、広島交響楽団鑑賞、小学生の交流体験事業などの事務を廃止する。

基金は出資割合にて按分して、約3億円と利息分を世羅町に帰属させる。今後は、それ

たとのことで、5千6百万円も減となり当初予算のあり方が問われる。企業参入促進補助として空口団地へ新規ぶどう植栽1千5百万を計上した。

国民健康保険税などの特別会計補正は、職員人事異動に伴う件や、前期および後期高齢者

それぞれの負担金にて事業を継続する。



交流体験 ピーマン選果場見学

## 工事請負

ケーブルTV事業にてNTT柱295本が強度不足となるため自営柱で対応する。(前回は中国電力の柱で補正2千6百万の増とな

## 町道路線

世羅中央線(広域農道)小国六反田より黒川までの4千2百30mを町道管理する路線変更。総延長2万5千90m。賛成多数で可決。

## 字の区域の変更

H14年度より西伊尾地区において実施されていた圃場整備事業で字の変更が必要となった。全会一致で可決。



ケーブルTV架線工事

り、13億9千5百万円。1工区で追加加入申し込みが113件あり、現在の加入率は約65%。4千4百35件。インターネットは6.6%が登録。敷地料は年間9百30円。三原テレビと地主との協議となる。工事期間を1ヶ月延長し3月27日とする。賛成多数で可決。

報告します

# 委員会での調査《今回より再編》

3→2常任委員会・4→3特別委員会に  
次世代に負担をかけないためにも熱心に議論

## 総務文教常任委員会

### ① 新年度予算方針

国の歳出見直しによる補助負担金の一般財源化や交付税の配分もさらに厳しくなる。町税も課税客体が少なく増加は見込めない。基金繰入の抑制が重要。

歳出は、厳しい財源状況が続く中、「行政改革推進プラン」を着実に推進してゆく。事業の重点化や定員の適正化など事務経費の削減など図る。農業・健康・住民自治活動・教育・上下水道整備に特化し、さらに行政改革に取り組む。

**Q** 財政再建は確かな裏付けが必要では

**A** 財政推計に基づいて着実に進めている。H26年までには公債比率16・8%まで持ってゆく。

**Q** 農業振興策は

**A** 法人化と土地の利用集積、圃場整備も進めている。6次産業の育成を図る。

### ② 病院改革プランの状況は

住民アンケート分析調査結果は、「しっかりとした医療が確保できれば1つでよい」が64%となっている。

今後の病院経営については「両病院の統合など市町の枠を超えた対策も検討すべき」41・2%が最も多い。今後、出てくる将来像について収支計画と合わせて検討する。

**Q** 公立病院の現状・実態と今後は

**A** 今後の将来像は、いろんなパターンがあるが、シミュレーションの中で検討する。

### ③ 幼児保育・幼児教育

私立幼稚園は就園奨励費の補助金申請を行っている。園児は60人である。

認定保育園の建設進捗率は30%。3月下旬の竣工予定で3歳未満の児童が中心となる。

**Q** 認定こども園の施設基準は

**A** 経験は必要なく、入所予定児童数に必要な保育士を配置することで認定される。

## 産業建設常任委員会

### ・ 現地調査

#### 商工労働の現況

大型量販店の進出で商工会員も減っている。金融面で行政と一体となり難局をのりきりた。離職者は例年ひと月に4人〜5人だが、本年11月に30人、12月中旬で20人を超え、特に自動車関連で人員整理が進んでいる。家電関係は10月から極端な落ち込みである。

### 山田川ダム下流取水場

取水場所変更した現場の視察を行った。

### ・ 事務調査

#### 上下水道運営の考え方

水道料金は何年も改定していない。公平妥当で経営の健全化のもと原価回収の水準を設定したい。西世羅地区・公共下水道とも料金改定（値上げ）で出発する事になる。浄化槽も

### 環境問題

県補助金の削減で減額せざるを得ない。

町指定のゴミ袋が他の市町に比べ高いが負担金の軽減を求めた。可燃以外は無料としており作成費を引いた残額2千2百万は甲世衛生組合負担の2億円に充当している。臭気公害対策として、広島県立大学の協力により対策を考えている。改善勧告後に豚舎は定例視察を受け入れた。



建設中の認定こども園

## 尾道松江線調査特別委員会

・事務調査

### 工事後の整備を要望

工事車両の通行にと  
もない県道がいたみ、  
その対策と対応を求め  
た。関係機関に伝え要  
望してゆく。インター  
付近の設備など経済的  
効果の考えは、観光に  
寄与するので国に要望  
したい。



新川地区調査

## 公共下水道事業調査特別委員会

### 現地調査

マンホールへの接続  
が斜めで無駄ではない  
かとの指摘に、密集地  
で迂回路がなく全面通  
行止めも不可能だ。現  
場では入札後の柵の変  
更もでてくる。

・事務調査

**Q** 下水道料金を大  
幅改定すれば加  
入率が低下するのでは  
改定後に説明をすべき  
だ。

**A** 規模が小さく採  
算性が低いため



H22年春開通予定  
(仮)甲山インター付近の工事現場  
世羅の町にどう活きる…

### 公共下水道使用料金改定の概要(案)

- 基本料金 (10m<sup>3</sup>/月まで)  
1,470円⇒3,150円  
上水道使用者は別途水道料金が必要
- 受益者負担金・分担金  
アパート・事業所等 1 個の柵で複数の  
の受益者の場合  
32万円/柵→最高52万円/柵  
(6世帯以上または建物面積1200m<sup>2</sup>以上)

一般会計からの繰入金  
に頼らざるを得ない。経  
営健全化計画策定し改  
定案の検討を行なった。  
県への収支計画提出  
に大きな変更はないが、  
実情にあった加入戸数  
で再計算した。

## 初議会

議長に 小川 信晃氏  
副議長に 奥田 正和氏

### H20年第3回 臨時会

議会議員選挙後の発議会（H20年第3回臨時  
会）は11月11日（期間1日間）に行われた。

地方自治法の規定により、年長議員の西田美  
喜男議員が臨時議長を務め、議長に小川信晃議  
員を選出した。その後小川議長のもと、議会構  
成（三頁参照）を決めた。さらに議員発議によ  
る世羅町議会議会条例の一部改正のほか、人  
事同意4件議案1件が会議に付された。

### 保育所設置条例の変更

町立保育所はH21年  
4月から、五保育所一  
分園と再編することは  
すでに決っていたが、  
その名称は公募による  
としていた。今回その  
名称が提案された。

**Q** 公募の状況や内  
容、さらには決  
定の経緯はどうなっ  
ているのか。

**A** 9月の町広報で  
募集案内し、10  
月15日を締切りとし、  
保育所ごとに名称募集  
した。62名で2百46件

### 委員会条例の変更

議員数を減じたため  
三常任委員会を二常任  
委員会とする。

### 人事の選任同意

監査委員（議会選任）  
仲行 洋  
副町長 金尾 則満  
教育委員 大谷 敏郎

## 皆さんの 陳情と請願 このように決めました

### ■採択となったもの

◎世羅町教育の更なる充実に努めてほしい。

提出者 社団法人 広島県教育会世羅支部  
会長 石光 昭也

◎協同労働の協同組合法（仮称）の早期制定の意見書を国に出してほしい。

提出者 「協同労働の協同組合」法制化を目指す  
広島市民会議準備会  
事務局長 渡口 政也

◎保険業法改定の趣旨に沿って自主共済の適応除外の意見書を国に出してほしい。

提出者 広島県保険医協会 理事長 長谷 憲

◎業者婦人の健康と営業を守り、「所得税法56条の廃止」の意見書を国に出してほしい。

提出者 尾道民主商工会婦人部 部長 橋本喜世子

◎地域医療の確保・介護職員の増員を求める意見書を国に出してほしい。

提出者 広島県労働組合総連合 議長 尾野 進

◎「後期高齢者医療制度」の廃止の意見書を国に出してほしい。

提出者 広島県労働組合総連合 議長 尾野 進

提出者 佐々木 宏・澤田カヨ子・橋本 和正

◎教育予算の拡充を求める意見書を国に出してほしい。

提出者 広島県教職員組合世羅支部 支区長 田丸 栄

◎老人クラブの補助金・委託金の配慮をしてほしい。

提出者 世羅町老人クラブ連合会 会長 安佐 敏明

◎残土を有効利用しグラウンドを整備してほしい。

提出者 代表 井上 忠則

## 議員発議

H20年第4回議会定例会で国、県の関係機関に6件の要望をした。

◎協同労働の協同組合法（仮称）の早期制定をしてほしい

◎保険業法改定の趣旨に沿って自主共済の適応除外をしてほしい。

◎業者婦人の健康と営業を守り、「所得税法56条の廃止」をしてほしい。

◎地域医療の確保・介護職員の増員をしてほしい。

◎「後期高齢者医療制度」の廃止をしてほしい。

## 人事

### 世羅町選挙管理員及び補充員

#### 選挙管理委員

（任期 H20年12月24日～H24年12月23日）

原 田 洋 治 東上原  
金 田 満 眞 宇津戸  
玉 谷 昭 隆 本 郷  
平 谷 昭 紀 黒 川

補充員（任期 H20年12月24日～H24年12月23日）

廣 山 松 夫 徳 市  
新 谷 洋 子 青 近  
中 門 出 幸 雄 小 国  
升 本 悟 本 郷



ヨシ!!

## お知らせ

請願、陳情の受け付けは、定例会前月の20日前後に議会運営委員会を開催します。それまでに、議会事務局に提出して下さい。

一般質問

どうする

町政の課題

質問時間は1人45分、3問以内1問につき2回の再質問ができる。

12月11・12日の二日間、世羅町議会規則にそって、一般質問を行った。今回は14人の議員が、あらかじめ抽選した順序で、事前通告にそって、延べ33項目について執行者の施策やその方針などの所信を質した。

一般質問とは

議会は町の重要な意思を決定し、住民に代わって行財政の運営を監視する。そこでの議員は、行財政全般にわたって、執行者に疑問点を質し、所信の表明を求めるという固有の権能をもっている。これが質問権であり、一般質問は定例会で行われる。

質問の範囲は町の行財政全般にわたる。質問に対して、質疑がある。これは議題となっている事件に対する疑義の解明で、質問とは根本的に異なる。

質問は所信を質したり、事実関係を明らかにするにとどまらない時には政治姿勢を明らかにし、それに対する政治責任を明らかにする

ることもある。

逆に、議論の産物として、現行の政策を變更、是正させあるいは新規の政策を採用させるなどの目的と効果がある。

このようなことから議員、執行者ともに十分な準備が必要となるため、通告制としている。



共同で草刈

●仙光 私たちの日常生活で欠かせないのが車であり道路である。財政難の状況下で新設改良は思いに任せない時代で、これからは維持管理が重要な仕事であると思う。



仙光保喜議員

県道は、専門業者により道路側だけ年一回は草刈をしているが町道については地域にお任せというのが実態だ。しかし、地域での取り組みが無く個人で管理してきた人ができなくなり少ない年金の中か

町道草刈管理は

今後の課題とする

らシルバー人材センターに依頼される事もある。今後の町道管理をどのようにしてゆくのかが。

■町長 道路における危険防止と通行の安全確保また、環境対策として世羅町シルバー人材センターに「町道管理業務委託契約」を結び実施している。約780kmある町道全線の草刈は無理で、多くの町道は地域協働によるまちづくりの一つとして日々の管理などの協力をいただいているところだ。

町としては申請により混合ガソリンの支給により、地域の協力に依っているのが実状だ。地域の母体としての位置づけで、自治センターを窓口として地域の問題点を抽出し行政側と将来的検討をする。

Q

雇用の確保と企業支援を

A

安易な解雇避けるよう要請



豊田 勲議員

●豊田 町長は、①町内企業に安易な解雇をさせないこと。及び、町の預託を受けた銀行が

貸し渋りしないよう要請せよ。②町民の緊急資金需要と住宅要求に応えること。

■町長 ①商工会を通じてお願いしている。預託額の3倍の貸し出しを要請している。②可能な限り対策したい。

Q

無理な学校統合せず文科省通達に従え

A

検討委員会の答申を尊重

●豊田 学校統合検討委員会は、教委の出した「素案」の通り統合を唯一の方向としている。文科省は無理にでも統合せよと通達しているのか。宇津戸では「学校を残せ」と陳情が出ているが、地域の声を尊重せよ。

Q

国保税の引き下げを安定的運営に努めたい

A

●豊田 国保会計には3億4千8百万円の基金があり、一世帯12万8千円余で、一世帯1万円以上の引き下げが可能であり決断を。資格証の発行は中止し、18歳以下にすべて保険証を。

■町長 医療給付費の動向を見ながら安定的



はつらつ津久志小の児童

■教育次長 小学校適正配置・適正規模検討委員会答申を尊重したい。世羅全体を地域と受けとめてほしい。

運営に努める。資格証は状況を勘案し対応するが、義務教育終了ま

での人には発行しないことにした。



休園したつばき分園

●仲行 保育所再編整備で廃止される施設の今後のあり方、児童の送迎など保護者の要望

Q

再編効果額での保育料値下げは町全体の子育て支援事業へ

A

●仲行 保

への対応、準備は進んでいるのか。また、再編整備による効果額を保護者へ還元するため保育料の値下げを考えるとどうか。

■町長 施設については地域振興協議会で検討していただき活用する方法を定める。

A

責任の重さを感じている

Q

無投票当選をどう受け止めるか



仲行 洋議員

●仲行 町長選の結果は無投票であったが、実績の評価で託されたのか疑問が残る。今後4年間の町政にどう取り組みのか。

■町長 今回の結果に進めてゆく。

送迎はこれまでの方針のとおり保護者をお願いする。施設の整備では駐車場の舗装、トイレの改修を行い、内容では児童のふれあいや交流事業などを進めている。

保育料は現行の水準で行ってゆく。

効果額については町全体の財政状況や総合的な視点で、今後の保育所運営や町全体の子育て支援事業に還元してゆく施策を検討する。

Q

## 世羅町役場跡地の経過は

A

## 円満な解決を目指す



岡田武士議員

れたと聞くが。

■町長 ①占有権、占有の妨害の排除が認知され消防活動が継続でき責任が果たせたと思う。その後、相手方より訴訟を提起されたため、引き続き審理が行なわれる事となっている。②相手方の訴訟の対応（弁護士）費。③弁護士が法解釈に基づき主張・弁論するもので、審理中の案件なので具体的な答弁は避ける。

●岡田 ①仮処分の申請は却下となり8月13日には町長は抗告しない方針を出したが、その後の対応は。②9月議会で弁護士費用を予算化した、その内訳は。③仮屯所が30年間の使用権があると言わ



大見商店街

Q

## 大見商店街が暗闇に

A

## 自主的な取り組みに期待

●岡田 ①暗闇になった経過は。②世羅商店街に補助金があるがなぜ生かせない。

■町長 ①H3年に旧世羅町において16基整備、管理は地元で一部補助をしていたが、料金の支払が困難となり消灯状態。今後、復活に向け自主的な取り組みに期待。

みに期待。②要因として、補助金の削減と社会情勢の悪化で地元負担が増したため。

## 浄水場の跡地利用は

## 有効利用の検討をする

●岡田 浄水場の跡地の有効利用法は。

■町長 過疎計画事業の位置づけを検討、有効利用を模索する。

Q

## 小学校の統合に英断を

A

## 統合検討委員会の答申で

効果、財政効果を基本に現在の10校を将来中学校単位の3小学校に統合を提案する。

また、遠距離通学は。

■次長 小中連携教育の推進が望まれ、将来を見据えた教育効果、財政面も視野に入れ審議している。

通学バスを検討している。

Q

## 町道に1.5車線の特例を

A

## 町民の理解を得て活用したい

●徳光 町道に、やむを得ない場合は、地域の裁量で造れる特例規定がある。大幅なコスト削減と工期の短縮が

図られる町道建設を。■町長 交通量や家屋の少ない地域で、2車線道路を1車線や1・5車線に整備し、事業費の削減と工期の短縮が図られ、財政効果は非常に大きい。今後地元町民の理解を得ながら活用したい。



1.5車線道路(新山線)

営は。

■町長 H16年地方債残約220億円が現在、196億円に減額し、公債費約25億円を償還している。

今後も人件費、扶助費、公債費など義務的経費の抑制と地方債の繰り上げ償還、起債の借り入れ抑制を図る。

## 新年度の財政運営は行財政改革の堅持

A

## の堅持

●徳光 H20年は米国の金融危機に端を発し、百年に一度の金融災害といわれ、本町の産業や一般家計の打撃は予想困難だ。町の財政運

雇用確保と企業誘致は

雇用安定策は、地域力の向上に必要



福田義人議員

■町長 雇用安定策は、所得の安定をもたらしひいては地域力の向上に繋がる。

今後、尾道松江の供用開始を見据えて常時雇用の出来る企業誘致に取り組む。障害者雇用は能力及び適正に応じた雇用・相談業務事業に勤める。企業誘致にはライフラインの整備が必要と考える。

●福田 急激な景気後退と雇用不安、企業誘致にどう対応するか、不安定労働下では購買力が伸びない、将来に向けた雇用安定策、就労確保がなくては、人口流失が止まらない。企業誘致及び産業振興策には上下水道の整備が必要と思う。

また、障害者の就労は、インターンシップに合わせて、寺町方面に集客力のある施設を企画してはどうか。



ハローワーク尾道

住みよい世羅町の実現にむけて

行政効率・縦割り行政の払拭に努める

●福田 住民に身近な町政維持をするには、行政改革の実行が必要だ。特に、処理の時間の短縮・時間のコスト意識も重要だ。また、縦

割り行政の払拭、苦情処理や申請事項のスピードアップが必要である。

■町長 行政改革には、行政効率を高めることが重要である。コストの中に、時間があること

とストレスのない町政を追及、苦情処理や申請の審査の時間短縮に取り組む。

滞納管理システムはH22年度までに行うように検討する。縦割り行政の払拭、債権回収情報の一元化は、管理回収組織を検討する。

今後の道路改良は

早期の開通をめざす



矢山 武議員

●矢山 用地を買収し

ても出来ない県道が多いが、改良の説明が必要ではないか。交通止めの続く安田徳市線の早期完了と県道中安田・田打線の安田地区の改良は。



町道安田徳市線工事

後継者の育成で農地を守れ国・県にたい

●矢山 高齢化の中で、農業後継者育成が必要であり農地を守り、イノシシなどの被害対策の強化を求める。

ため池改修を進めるため負担減をはかれ。

■町長 町の施策としては困難である。イノシシ被害が増加しており、国・県の対策を利用し被害防止、保護体制を強化。

ため池改修について、は町も上乗せしている。

■町長 県は、H21年度建設事業費を14%削減の方向で、早期完了を要望する。トンネル部分はH25年完成を。

中安田・田打線はまだ京丸地区が2億円分残っており、今は計画がない。

保育所と認定こども園は

●矢山 保育の民営化が進む中、希望者が全員入所できる対応を求める。

H21年4月に認定こども園が出来ることが町の対応は。

借地をめぐることは、早期に解決をはかるべきであるが。

■町長 保育所の一体的な利用のため位置を変更。仮処分の却下により利用は変わっており、和介の努力をする。保育所は、自由な選択により入所できる。

Q

健全な財政は実現可能か

A

危機的状況は回避



中村幸雄議員

●中村 財源の安定確保をどこに求めるのか。歳出の大幅な削減は何を削減するのか。

■町長 財源確保は活用見込みの無い公有財産の処分や、企業誘致、公の施設の再編整備。物件費の経費削減合

理化など削るところが残されていない。今後は民間委託の推進、定員管理及び給与費の適正化などが中心となってくる。

Q 政策宣言の実施は確実か  
A 全ての政策前向きに検討

●中村 マニフェスト中の産業・医療体制・自治活動をどう考えて



くい市民病院

いるか。

■町長 企業誘致については今後10年先の地域成長戦略として積極的に推進する。企業誘致促進本部会議を毎月開催している。定住対策については県立広島大学との連携事業として「人口減少における地域社会の変貌と今後の定住施策」として調査研究を行っている。医療体制については、来年度より広島大学病院卒後臨床研修における「地域保健研修協力型病院の指定」を受け医師確保に取り組んでゆく。

くい市民病院との統合は地域住民の意向調査結果と両病院の現況等をもとに検討する。医療費助成制度を、中学生までに拡大することについては、財政状況をもとに検討する。自治組織の施設整備は「住民参加型まちづくり基金（仮称）」の創設を検討している。



楽しく遊ぶ小国保育所園児

Q 保育所中途退所はダメだ  
A 年長児には継続し承認している



奥田正和議員

●奥田 統合を控え保育サービスの充実・若者定住策が明確でない。保護者と子どもがストレスを感じない体制にすべきだ。相談機能もあるが退所するケースが多い。育児期間とし

て、一年程度を認めるべきだ。保小連携でバス通園の活用はどうか窓口手続で押印廃止も考えてゆくべき。

■町長 出産後の保護者の心配は承知している。入所の公平性を保つため説明し理解を求め、産前6週、産後8週で対応している。児童福祉法の中で対応せざるを得ない。通園は、保護者の責

任において行って頂きたい。押印廃止は、県内でも取り組まれているが、住民に迷惑をかけないよう慎重に進めてゆきたい。

Q 上水道・簡易水道の予定の無い地域への取り組みは  
A 次期過疎計画で検討する

●奥田 周辺部では山林の荒廃や雨量不足等により井戸水等の出が悪くなり水質も悪化している家庭もある。定住策も含め助成すべきと考えるが。

■町長 未普及地域は大字あるいは集落単位で15地域、人口対応28・4%になっている。共同での飲料水供給施設等は法律で技術管理者、あるいは、健康診断が義務づけられる。加入率や財源確保を含め検討課題であると考えてる。

Q 人事評価、行政評価は

A 検討し実施する

るところで年度末に評価結果が出る。一般職



永田英則議員

●永田 H18年に策定された、世羅町人材育成基本方針に基づき導入された経過結果は、行政評価についての考えは。

■町長 管理職員に対し導入を行ってきた



さかえ浄水場

Q 手数料、使用料の算出方法は

A 学識経験者による判断

●永田 手数料使用料は低額であることは当然であるがその算出方法はどうか。

■町長 町の財政事情や受益者の応分の負担の観点などによって適

切に決定してきたところで、今後は学識経験者などにより構成された機関において、判断を委ねるべきではないかと考える。

員に対しては来年度から実施したい。試行の実施については職員組合と交渉を行っている。行政評価の導入に向けたシステムの構築について検討し実施する。

Q 年末の上京陳情の必要性は

A 地方財政確立のための実行

●永田 ①年末の予算陳情で成果はあったか  
②年末の上京陳情を今後も続けるのか  
③補助金行政についての基本的な考え方は。

■町長 ①住民の最も身近な基礎自治体と役割の重要性などを訴えることで成果がある  
②地域より発展させる道筋となる限りは続けてゆきたい  
③地方独自に判断し執行できる施策の展開が可能になるよう要請を続ける。

Q 多重債務の相談窓口は

A 身近な役場へ相談を



西田美喜男議員

■町長 H19年4月に生活安全相談窓口を設

Q 町道の草刈りどう取り組む

A 自治センターを窓口施策を

●西田 町道の草刈りは高齢化により将来を危ぶむ方が多くなった。町として対策が必要と考えるが。

■町長 高齢者地域への対応は自治センターを窓口とした施策が必要と考えている。

今後、地区振興会で問題点として、高齢者地域を把握してもらい、その地域の将来がどうあるべきか、そのためには何をすることが、町づくりの一助となるのかを地域で考えていただき、そこに行政がどう支援できるのかを議論してゆくことが必要と考える。



多重債務の相談窓口は総務課

## A 抜本的に検討する



をこれ以上拡大させない対策が求められるが。

■町長 被害の拡大状況から判断して、従来

どおりの対策では無理だと考える。

「鳥獣害防止特措法」や県の「イノシシ駆除対策」を活用し、関係者と協議しながら、新年度に向け、抜本的な対策を検討している。

## Q バイオマス構想の策定は

**私の政策宣言でもある**

●福田 地球規模で環境対策が求められている。有効・可能と判断

力を発揮し方向性を示すべきでは。

■町長 バイオマス利用は何件かの照会がある。補助事業を活用して事業展開するには



される手  
法は、施  
策として  
主導し先  
鞭をつけ  
ることは  
当然の責  
務では。

バイオ  
マスは民  
間でも調  
査研究さ  
れている。  
町は指導

また現在「脱温暖化  
せらのまちづくりプラ  
ン」を策定中であり、  
これにより、脱温暖化  
の取り組みを具体的に  
すすめたい。

想策定したい。

また現在「脱温暖化」

●松本 国家財政再建  
のもと地方自治体に権



## Q 自己財源の確保は

## A 企業誘致の体制整備を進める

限と、責任が大幅に拡大し、財源においても中山間地域においては町税の伸びも望めず、今まで財政改革に取り組んできたが、明るい兆しが見えてきたものの、それ以上に少子高



齡化により、サービスの充実が望まれる現状である。いくら福祉の充実・サービスの充実をとんでも肝心な財源がなくては出来ない。今後企業誘致を含め、世羅町の特性を生かした更なる財源確保のための考えを問う。

■町長 企業誘致に關しては、重要な課題と考える。調査、手法の検討を行い、道路網の整備と合わせた政策を進めてゆきたい。

観光の振興に関しては、観光農園を含め全町公園化構想による観光振興に努め、そして基幹産業である農業の農作物については伸びる傾向にあるが、集落法人の育成、農業外企業からの参入を進め産地基盤を固めてゆく考へである。

また、新たな特産を用いた加工品の開発を進め農家所得の向上を目指してゆく。

## 元気な人紹介

# 1200人の会員さんと 安全安心な食物の供給を



佐古淳子さん

**農業をされていて  
良かったと思える人生に**

世羅農業公園ファーマーズマーケットの指定管理者選定議案が可決され、その代表理事の佐古淳子さんにインタビューしました。

このファーマーズマーケットは、町内の農業者グループがお互いの農産物を販売することで経営の安定を図ろうとするものです。

佐古さんは京都出身で、大学卒業後、酪農経営をされていたご主人と結婚されました。

都会育ちの佐古さんは、最初は農業にあまり関心がなく、農業改良普及所の生活改善グループの活動に参加するぐらいでした。H6年、県が主催する生活改善グループのヨーロッパ研修参加者の15人に選ばれ、メンバーの方々の農業に対する取り組み方、考え方に触発され、農業には、いろんなスタイルや、やり方があり、努力すれば結果が出る。農業はやりがいがあることに開眼し、世羅の地の農業に夢を描いて活動を続けられて、この地のリーダー的存在になっておられます。



ファーマーズマーケット

安全が脅かされています。夢高原市場では、59団体、千2百人の会員と共に、本当に安全安心な食べ物を供給していただくが必要と考え、思いをひとつにし、山菜などを活用した特産物の開発に取り組んでおられます。

子どもたちには安全安心な食べ物で育ってもらいたいと願っています。特に、学校給食現場では、地元の農産物を是非使って頂きたいと思っています。

今後、会の皆さんと共に農業をしていて良かった、ゆとりが出来て良かったと思える人生にしたい。

日々一歩ずつ向上してゆきたいと抱負を述べられました。

## 編集後記

合併2期目の議会となりました。

振り返れば、財政再建に力をそそいだ4年間であり、住民の皆さんには我慢ばかり押しつけることとなり、申し訳ない気持ちでいっぱいです。

多少の明かりは見えてきたものの油断は許

されない状況です。

世の中は、アメリカ・サブプライムローン問題に端を発し、百年に一度の大不況と言われています。

派遣社員の解雇、採用内定の取消しなど、耳を疑うような報道が飛び交い先行きが不安に感じられる毎日であります。

議会も新体制となり「継続する世羅町」を

目指し、代表として住民の思いを伝え、実現できるよう努力することが議員の使命とし、一丸となって取組んでゆく決意です。

そして、我々広報委員は今以上に「読みやすく・わかりやすい」広報誌の作成を目指します。

今後とも忌憚のないご意見・ご感想をいただければ幸いです。



編集作業風景

議会広報公聴  
調査特別委員会

委員長／福田 義人  
副委員長／松本 秀治  
委員／西田美喜男・安佐 長秀  
福田 豪・奥田 正和

**議会を傍聴してみませんか  
次回定例会は3月です**

詳しくは無線放送でお知らせします。  
またケーブルテレビで本会議の中継をしています。